

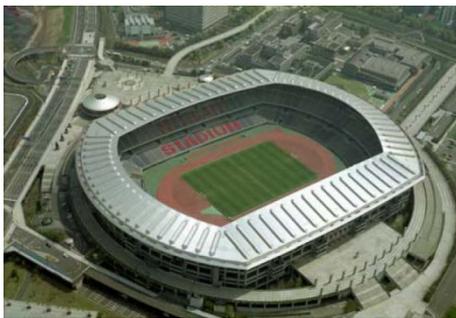
ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック に向けた取り組み状況について

1 大会の概要

(1) ラグビーワールドカップ 2019™

1987 年の第 1 回大会から 4 年に 1 度、ラグビー伝統国を開催国として開催されてきました。第 9 回となる 2019 年日本大会は、アジア初、ラグビー伝統国以外初、ラグビー 7 人制がオリンピック種目に採用後初の大会であり、横浜国際総合競技場で決勝戦が予定されています。

開催期間 (2019 年)	9 月 20 日～11 月 2 日 【44 日間】
参加チーム	20 チーム
試合会場	全国 12 会場
試合数	48 試合 (予選 40 試合、決勝トーナメント 8 試合)



横浜国際総合競技場



ラグビー日本代表戦(2016年6月18日)

(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック

横浜においては、サッカー競技が横浜国際総合競技場で、野球・ソフトボール競技が横浜スタジアム（主会場）で開催されます。

	東京 2020 オリンピック	東京 2020 パラリンピック
開催期間 (2020 年)	7 月 24 日～8 月 9 日 【17 日間】	8 月 25 日～9 月 6 日 【13 日間】
参加国・地域	205 (予定)	177 (予定)
競技数・種目数	33 競技・339 種目	22 競技・537 種目



横浜スタジアム



東京 2020 オリンピック・パラリンピック
フラッグツアー フラッグ歓迎イベント
(2017年9月3日)

2 両大会に係る経過及び取り組み状況等

年	月	内 容
25年	9月	2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市が東京に決定 サッカー競技の横浜開催が決定
27年	3月	ラグビーワールドカップ2019™開催都市に「神奈川県・横浜市」が決定
28年	4月	庁内推進組織「ラグビーワールドカップ2019™東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市推進本部」を設置 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■横浜市推進本部の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「開催準備・機運醸成部会」、「スポーツ振興部会」、「文化芸術振興部会」、「まちづくり部会」の4部会を設置。 ・区局横断的検討が必要な個別テーマを抜き出し、実務レベルでスピード感を持って集中的に検討するため、推進本部内にプロジェクトを順次設置。 <p><設置済プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> 「会場整備」、「通信・環境案内サイン」「危機管理」、「ボランティア」、「多言語対応」 </div>
	11月	オール横浜の官民連携組織「ラグビーワールドカップ2019™東京2020オリンピック・パラリンピック横浜開催推進委員会」を設置 同委員会にて、両大会に向けて横浜が目指す方向性を「横浜ビジョン」として策定 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■横浜ビジョン・取組の柱</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 両大会の成功に向けてオール横浜でおもてなし (2) スポーツを通じて横浜を元気に (3) 文化芸術の創造性を生かしたまちづくり (4) 横浜を世界に魅せる </div>
	12月	東京2020大会において、野球・ソフトボール競技の横浜開催が決定
29年	3月	英国オリンピック委員会と施設利用契約を締結し、東京2020大会における英国オリンピック代表チームの横浜国際プールでの事前キャンプが正式決定
	4月	「横浜ビジョン」実現に向けて、横浜市が主体的に推進する必要がある取組を「横浜市の取組」（別添参照）として策定
	7月	実務的な情報共有や検討のため、「横浜開催推進委員会」に「ラグビーワールドカップ2019™専門委員会」及び「東京2020オリンピック・パラリンピック専門委員会」を設置し、第一回合同委員会を開催

横浜スタジアムの増築計画について

横浜スタジアムでは、約 6,000 席の増席（収容人数 約 29,000 人⇒約 35,000 人）、バリアフリー対応のためのエレベーター等の設置、回遊性向上のためのデッキの設置等が計画されています。

横浜スタジアム増設計画図（鳥瞰図）



増築部分概要

工 期	平成 29 年 11 月頃から平成 32 年 2 月頃まで（予定）
施設内訳	右翼側スタンド席、左翼側スタンド席、 個室観覧席・屋上テラス席、回遊デッキ



ラグビーワールドカップ 2019™
東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた
横浜市の取組
<概要版>

ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック に向けた横浜市の取組とは

「ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた横浜ビジョン～横浜のさらなる飛躍とレガシーの創造～」(以下、「横浜ビジョン」)に掲げられている「取組の4つの柱」に基づいて、横浜市が行う両大会に向けた取組や、取組から生まれるレガシーを「ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた横浜市の取組」(以下、「横浜市の取組」)としてまとめました。

横浜市では、両大会の開催を契機に、スポーツ振興はもとより、文化芸術の振興、経済、教育分野、シティプロモーションなど幅広い取組により、次世代を担う子どもたちへの「贈り物」となるような有形無形のレガシーを遺していきます。

「横浜ビジョン」に基づく「取組の4つの柱」について

柱1 両大会の成功に向けてオール横浜でおもてなし

関係機関と連携して円滑な大会運営に取り組むとともに、国内外から訪れる皆様を全力でおもてなしします。

ソフト・ハード両面でのバリアフリーを推進するとともに広報やイベントなどによる機運の醸成や、トレーニングキャンプの受入れ等を通じた国際交流などで両大会を大いに盛り上げ、両大会に対して最大の貢献をしていきます。

(「横浜ビジョン」P4参照)

柱2 スポーツを通じて横浜を元気に

両大会を契機に、地域スポーツや障害者スポーツをはじめ、さらなるスポーツ振興に取り組み、障害の有無や世代に関わらず子どもから高齢者まで全ての市民がスポーツや運動に親しみ、健康で心豊かに生き生きと暮らすことができる、元気な横浜の実現を目指します。

(「横浜ビジョン」P5参照)

柱3 文化芸術の創造性を生かしたまちづくり

人々の活力や市民生活の向上につながる文化芸術の振興を図ります。

文化芸術の持つ創造性を様々な施策に生かし、コミュニティの活性化を図るなど創造的なまちづくりを進めます。

横浜ならではの文化プログラムを実施し国内外に発信するとともに、賑わいづくりと経済の活性化につなげます。

(「横浜ビジョン」P6参照)

柱4 横浜を世界に魅せる

横浜のプレゼンスやブランド力を高めるためのシティプロモーションを展開し、文化芸術創造都市、環境未来都市、世界に開かれた国際都市、ビジネスチャンスあふれる都市など、横浜が持つ様々な姿を世界に魅せていきます。

また、国内外からの誘客を強化し、観光客など来訪者の滞在環境や回遊性を一層充実させるほか、MICE機能の強化やビジネス環境の向上を進め、さらなる賑わいと活力を創出します。

(「横浜ビジョン」P7参照)

柱1 両大会の成功に向けてオール横浜でおもてなし

関係機関と連携・協力し、円滑な大会運営に取り組むとともに、競技会場等について、必要な設備更新や、観戦者を含む来街者の円滑な移動等に向けたバリアフリー対応などに取り組みます。



<横浜国際総合競技場>

- ・ラグビーワールドカップ2019™決勝戦の開催に向けた照明設備を更新し、競技場の魅力づくりを図ります。
- ・国際大会の開催時の安全や機能を確認するため、競技用の場内放送設備等の保全工事やトイレの増設、洋式化やテレビ放送関連設備の更新などを実施します。



©YDB

<横浜スタジアム>

野球・ソフトボールの開催に向けて、大会組織委員会等と調整を行います。

節目ごとのイベントの開催や、各区における盛り上げイベント等の実施により、両大会に向けた機運醸成を図ります。



ストリートラグビー体験

(横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2016)



パラリンピック競技(ブラインドサッカー)体験

(横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2016)

節目ごとのカウントダウンイベントの開催や、各区における機運醸成イベントの実施、区民まつり等各種既存イベントと連携したPR活動、パラリンピック競技体験の実施などにより、両大会に向けた機運醸成を図っていきます。

関係団体と連携しながら、英国オリンピック代表チームの事前キャンプを受入れます。



横浜市において、東京2020大会における、英国オリンピック代表チームによる事前キャンプが実施されます(※1)。横浜市では、適切な練習環境の提供など、英国チームをしっかりと迎えるとともに、英国のホストタウン(※2)として、スポーツ、文化、教育の分野など幅広い交流機会の創出を目指します。また、英国の実施状況を見極めながら、更なる受け入れについても、調査・検討を進めます。

※1 平成29年3月、英国オリンピック委員会との間で、横浜国際プールにおける英国代表チームによる事前キャンプ実施に関する契約を締結

※2 平成28年1月、国主導の制度「ホストタウン構想」に登録済み

柱2 スポーツを通じて横浜を元気に

オリンピック・パラリンピアン、ラグビー日本代表等トップアスリートと、小・中学生等との交流を通じた運動意欲の向上に取り組みます。

東京2020大会の開催に向けて、オリンピック・パラリンピック出場経験者を招へいたイベント開催するなど、市内のスポーツ振興と大会の機運醸成を図ります。

また、はまっ子スポーツウェーブ（小学校体育大会・小学校水泳大会等）や中学校総合体育大会などにオリンピック・パラリンピック出場経験者等トップアスリートを招へいし、演技の実演や講演を実施することで、大会に向けた機運の醸成を図ります。



写真上
オリンピックによる学校訪問
(走り方教室)



写真右上
パラリンピアンによる学校訪問（講演）

写真右下
はまっ子スポーツウェーブへのオリンピックの派遣

ラグビーワールドカップ™出場経験者による講演・タグラグビー実技授業



ラグビーワールドカップ2019™の開催に向けて、市内の小中学校にラグビーワールドカップ出場経験者やタグラグビー指導者を招へいし、講演やタグラグビーを実施することで、大会に向けた機運の醸成を図ります。

学校や地域のスポーツイベント等での障害者スポーツの実施、体験を通じた障害者スポーツの普及・啓発に取り組みます。

障害のある方がいつでも身近な地域で障害者スポーツを行えるようにするため、各区スポーツセンターや地区センターなどの地域資源と連携を進め、障害者スポーツを行える場を確保するとともに、自主的に取り組みやすい種目を地域に広げていきます。

また、障害の有無に関わらず共に楽しむことができるよう、障害者団体や競技団体、地域スポーツ団体と連携しながら、誰もが安心して参加できるスポーツイベントを検討し、実施します。

写真右
ボッチャ交流会
(障害者スポーツ文化センター横浜ラポール)



柱3 文化芸術の創造性を生かしたまちづくり

横浜トリエンナーレ、横浜芸術アクション事業など文化芸術創造都市・横浜ならではの文化プログラムの実施により、まちに賑わいを創出するとともに、横浜の魅力を世界に発信します。



写真左
ヨコハマトリエンナーレ 2014 マイケル・ランディ
《アート・ピン》2010/2014/撮影：加藤健



写真上
Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015
横浜ダンスパレード photo : bozzo



写真左
横浜音祭り 2016 西本智実指揮
イルミナートフィルハーモニーオーケストラ
(c)oono ryusuke

横浜トリエンナーレ（現代アート）・横浜芸術アクション事業（ダンス・音楽）といった横浜らしい特色ある芸術フェスティバルを継続的に開催し、「文化芸術創造都市・横浜」のプレゼンス向上を図ります。

子どもたちの豊かな感性や創造性を育む文化芸術体験の充実や新進アーティストの支援など学校や地域で次世代育成に取り組みます。また、文化芸術の創造性を生かし、障害のある方が新たな芸術表現を生み出す現代アートの国際展の開催や文化芸術活動に参加するためのネットワークづくりを進めます。



芸術文化教育プログラム推進事業 実施の様子
(市立末吉小学校/美術 (造形))

学校にアーティストを派遣し、子どもたちが音楽や美術、ダンス、伝統芸能等の体験ができる教育プログラムを展開し、芸術文化の力により次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力等を育成します。



ヨコハマ・バラトリエンナーレ 2014
photo:427FOTO

障害のある方と多様な分野のプロフェッショナルの協働により新たな芸術表現を創造・発信するとともに、横浜トリエンナーレとも連携し、まちの賑わいと祝祭感を創出します。

柱4 横浜を世界に魅せる

外国人観光客も含め、多くの来街者が、迷わず、円滑に目的地に到達できるための案内環境の整備や、Wi-Fi整備による通信環境の向上に取り組みます。

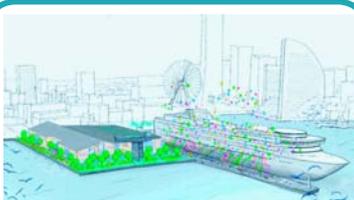


- 案内サイン等の整備に取り組みます。
 - ◇都心臨海部及び新横浜周辺地区において、施設管理者や鉄道事業者などの関係者と連携し、道路・公園・鉄道駅等の案内サインの多言語化、統一化、連続性の確保など、来街者にとって分かりやすい歩行者用の案内・誘導サイン整備の実施
 - ◇市営地下鉄駅構内案内サインのリニューアル
- Wi-Fi環境を整備します。
 - ◇みなとみらい21地区等
 - …主要な歩行者空間等における、Wi-Fiの早期整備
 - ◇都心臨海部、新横浜
 - …公民連携による、来訪者の利便性向上に資する通信環境整備

客船受入機能の強化やMICE機能の強化、地区内の回遊性向上等により、多くの人を惹きつける都心臨海部のまちづくりを推進します。



横浜港大さん橋国際客船ターミナル



新港地区客船ターミナル整備イメージ



MICE施設イメージ図(20街区)
※本イメージ図は2017年1月末時点の情報をもとに作成。
今後変更される可能性があります。

- 客船受入機能を強化するため、大さん橋国際客船ターミナルのサービス拡充、新港地区客船ターミナルの整備、大黒ふ頭の自動車専用船岸壁を活用した超大型客船受入施設の整備を実施します。
- 横浜での開催需要に対応するため、パシフィコ横浜の隣接地(みなとみらい21中央地区20街区)に新たなMICE施設を整備します。
- 都心臨海部において、来街者の利便性を更に高めるため、「高度化バスシステム」(連節バスを活用した新たな交通)を導入します。

きれいな街並みに向けた環境整備に取り組みます。



- 会場周辺において、清潔な街並みによる居心地の良い環境の実現に向けた取組を実施します。
 - ◇歩道や市所有地・市所有施設について、大会期間にあわせた清掃等の実施
 - ◇会場周辺や繁華街などのエリアについて、大会期間中、昼間の時間帯にごみが置かれないよう、焼却工場に夜間搬入可能な環境整備の実施
 - ◇多くのお客様を迎える場所の、望ましい公共的機能(公衆トイレ・喫煙所)の検討、整備
 - ◇公衆トイレ案内の多言語化、外国人向け利用マナー表示板の設置及び洋便器化の推進
 - ◇大会期間にあわせてポイ捨て・歩行喫煙防止パトロールを集中的に実施するほか、臨時喫煙所を設置
- 喫煙禁止地区の標識・標示・看板等の多言語化を推進します。

「横浜市の取組」掲載一覧

「柱1 両大会の成功に向けてオール横浜でおもてなし」

*本市で開催される競技について、関係機関と連携・協力し、円滑に実施します

- ①競技会場における各種計画（警備、安全確保、救急医療体制など）の策定・実施
ア 危機管理・安全対策
イ 交通・輸送対策
ウ 救急医療体制の構築
エ 外国人診療の支援
- ②競技会場における必要な整備やアクセスルートなども含めたバリアフリーや屋外広告物への対応
ア 会場整備【再掲】
イ 屋外広告物への対応
- ③組織委員会と連携した大会運営ボランティアの育成・活用
ア 大会運営ボランティアの育成・活用

*両大会に向けて機運を醸成し、大会を盛り上げます

- ①機運の醸成と両大会を盛り上げるための広報・イベントの実施
ア 既存広報誌、市ホームページを活用した広報
イ 情報発信拠点の設置
ウ 盛り上げイベント等の実施【再掲】
エ 既存イベントと連携した機運醸成【再掲】
オ テストイベントと連携した機運醸成
カ 街の装飾
キ 市民参加による聖火リレー
ク パブリックビューイングの実施
- ②来訪者をおもてなしするボランティアの育成・活用に向けた取組
ア 都市ボランティアの育成・活用
- ③ラグビーワールドカップ2019™ファンゾーンの設置による来訪者へのおもてなし
ア ファンゾーンの設置

*トレーニングキャンプの受入やホストタウンの取組等を通じた国際交流を進め、様々な国の人々と理解し合い協働できる人材の育成などに取り組みます

- ①トレーニングキャンプの受入に向けた調整
ア 事前キャンプの受入【再掲】
- ②ホストタウン構想の実施などによる国際交流の推進
ア ホストタウンの取組【再掲】
- ③文化の異なる人々と協働する姿勢を身につけた人材の育成
ア グローバル人材の育成等

「柱2 スポーツを通じて横浜を元気に」

*ラグビー競技の普及を図りながら、スポーツへの意欲向上と地域スポーツの振興に取り組みます

- ①オリンピック・パラリンピアン、ラグビー日本代表等トップアスリートと小・中学生等との交流を通じた運動意欲の向上
ア オリンピック・パラリンピック出場経験者の派遣【再掲】
イ 小中学生とオリンピック・パラリンピック出場経験者等との交流【再掲】
ウ 市内小学校にラグビー選手やタグラグビー指導者を派遣【再掲】
エ トップアスリート等との連携・協力
オ 大規模スポーツイベントの誘致・開催
カ スポーツ遺産の保存・活用
- ②市民参加型スポーツイベントの充実や横浜文化体育館再整備等による場の拡充など、地域スポーツの振興
ア スポーツボランティアの育成・支援
イ 市民大会・区民大会の定期的な開催（初心者が参加できる工夫）
ウ 大規模屋内スポーツ施設（スケート場、武道館等）の再整備
エ スポーツ情報等の提供
- ③ラグビーワールドカップ2019™開催を契機としたラグビーの普及・啓発
ア 小学校派遣事業（市内小学校にラグビー選手やタグラグビー指導者を派遣）【再掲】
イ カウントダウンイベントの開催
ウ 日本代表戦やジャパントップリーグ等の試合誘致

*障害のある人もない人も同じようにスポーツ活動を楽しむことができるよう、広く社会全体に向けて、障害者スポーツの推進に取り組みます

- ①学校や地域のスポーツイベント等での障害者スポーツの実施、体験を通じた障害者スポーツの普及・啓発（パラリンピック競技体験等）
ア 障害者スポーツの場の確保と種目の普及【再掲】
イ 障害の有無に関わらず、誰もが一緒に参加できるスポーツイベントの実施【再掲】
- ②横浜ラポールと連携した取組、身近で活動できる場の確保、特別支援学校等におけるスポーツ活動の活性化など、スポーツ関係団体や障害者団体とも連携した障害者スポーツの推進
ア 地域への障害者スポーツに関するノウハウの浸透
イ 特別支援学校におけるスポーツ選手育成強化事業
ウ パラトライアスロンの強化

***子どもたちの運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上と、スポーツに関わる人材の育成に取り組みます**

①市内小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校と連携した取組

- ア 体力アップよこはま 2020 プランに基づく取組の実践
- イ 食育の推進
- ウ 東京 2020 大会を契機とした、体育的行事等による運動意欲の向上
- エ 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成
- オ 幼児期における運動習慣の啓発・普及活動
- カ 子どもの体力向上事業の実施及び拡充

②横浜商業高等学校におけるスポーツマネジメント人材の育成

- ア スポーツマネジメント人材の育成

***本格的な超高齢社会の到来に伴い、生活習慣の改善や介護予防を進めるため、スポーツなどを通じた健康づくりに取り組みます**

①ウォーキングなどの運動による生活習慣の改善や、日常生活の中で取り組める仕組みなどによる健康づくりの推進

- ア 370 万人の健康づくりの推進

②高齢者も楽しむことができるスポーツの推進ほか生涯スポーツの推進

- ア 高齢者向けのスポーツ教室・イベントの実施
- イ 生涯スポーツへの支援(シニアスポーツの展開・レクリエーションを主体としたスポーツ大会の開催 等)

「柱 3 文化芸術の創造性を生かしたまちづくり」

***横浜らしい特色ある芸術フェスティバルをはじめとした文化プログラムの実施により、まちに賑わいを創出するとともに、横浜の魅力を世界に発信します**

①横浜トリエンナーレ、横浜芸術アクション事業など文化芸術創造都市・横浜ならではの文化プログラムの推進

- ア 文化プログラムの推進【再掲】

②環境技術を活用したアートイベント（スマートイルミネーション）やユニバーサルな文化事業（パラトリエンナーレなど）の実施

- ア 環境技術を活用したアートイベントの実施
- イ ユニバーサルな文化事業の実施【再掲】

***子どもたちの豊かな感性や創造性を育む文化芸術体験の充実や新進アーティストの支援といった次世代育成に取り組みます**

①子どもたちの文化芸術体験の充実

- ア 横浜トリエンナーレ事業を通じた次世代育成【再掲】
- イ 横浜芸術アクション事業を通じた次世代育成【再掲】

②新進アーティストの発掘・育成・支援

- ア プラットフォームの設立・運営

***一人ひとりの市民が、地域におけるさまざまな文化芸術活動に参加し、いきいきと活動できる環境の整備や文化芸術活動への支援を行います**

①地域における文化芸術活動の拠点機能の充実

- ア 障害のある方の文化芸術活動を支援する環境及び仕組みの整備

②地域課題の解決につながる文化芸術活動の支援

- ア 横浜の文化や芸術に係るあらゆる情報を一体的に発信する多言語対応の情報サイトの構築

***アーティスト・クリエイターなど創造的な人材と企業や地域との協働を推進し、創造的産業の集積・振興につなげ、創造性を生かしたまちづくりを進めます**

①企業やNPO、大学等と連携したアーティスト・クリエイターの集積とビジネス機会の創出

- ア プラットフォームの設立・運営【再掲】

②アーティスト・クリエイター同士のネットワークづくり

- ア プラットフォームの設立・運営【再掲】

「柱 4 横浜を世界に魅せる」

***「横浜ならではの」の魅力・コンテンツの発信により、国内外から人が訪れ、賑わう「千客万来のまちづくり」を進めます**

①横浜ならではの魅力創出とシティプロモーションの展開

- ア 横浜都心のまちづくりや、広域ネットワークの整備による、都市の魅力向上
- イ シティプロモーションの展開
- ウ 国内外からの集客の推進

②インバウンド対応強化など千客万来のまちづくり

- ア 外国人観光客の快適な滞在環境の提供
- イ 商店街のインバウンド対応強化への支援

*** 来訪者の滞在環境の向上や都心部での緑化（花）等により、来訪者や市民が「居心地がいい」と感じるようなまちづくりを進めます**

- ①バリアフリーの取組や案内サインの多言語化、通信環境の向上などによる快適な滞在環境の提供
- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ア 会場周辺駅のバリアフリー化 | イ 案内サイン多言語化など、案内環境の向上【再掲】 |
| ウ Wi-Fi 整備による、通信環境の向上【再掲】 | エ 良質な宿泊施設の立地促進による、滞在環境の向上 |
| オ きれいな街並みに向けた環境整備【再掲】 | カ 快適な滞在を下支えする、安全・安心なまちづくりの推進 |
- ②花や緑による賑わいの創出
- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ア 都心臨海部の緑花による賑わいづくり | イ 第 33 回全国都市緑化よこはまフェアの開催 |
|---------------------|--------------------------|
- ③都心臨海部における新たな交通による回遊性の向上
- | |
|-----------------------|
| ア 都心臨海部における回遊性の向上【再掲】 |
|-----------------------|

*** 再生可能エネルギー等の活用や環境に配慮したライフスタイルの推進など、世界のモデルとなるスマートシティの実現を目指します**

- ①エネルギーマネジメントの推進・再生可能エネルギー・水素等の活用
- | | |
|---------------|--------------------------|
| ア 燃料電池自動車等の活用 | イ 再生可能エネルギーの活用およびプロモーション |
|---------------|--------------------------|
- ②環境に配慮したライフスタイルの推進
- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ア 環境に配慮したライフスタイルの推進 | イ 3Rの推進や、食品ロス削減の取組の、世界への情報発信 |
|---------------------|------------------------------|
- ③みなとみらい 21 地区を中心に、スマートなまちづくりに向けた環境ショーケースとしての取組の推進
- | |
|--|
| ア みなとみらい 2050 アクションプランにもとづくスマートなまちづくりの推進 |
|--|

*** 世界に開かれた国際都市・ビジネスチャンスあふれる都市 横浜を発信します**

- ①MICE 機能や客船の受入環境の強化
- | | |
|------------------|-----------------|
| ア MICE 機能の強化【再掲】 | イ 客船の誘致・受入機能の強化 |
|------------------|-----------------|
- ②ビジネス環境の向上とプロモーションの充実によるビジネス機会の拡大
- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ア 企業立地における、横浜の魅力の発掘・構築 | イ 外資系企業誘致に向けた効果的なプロモーション |
|------------------------|--------------------------|



ラグビーワールドカップ 2019[™] 東京 2020 オリンピック・パラリンピック横浜市推進本部

平成 29 年 4 月作成

(事務局) 横浜市民政局ラグビーワールドカップ・オリンピック・パラリンピック推進課
横浜市中区港町 1 - 1

E メール sh-olypara@city.yokohama.jp

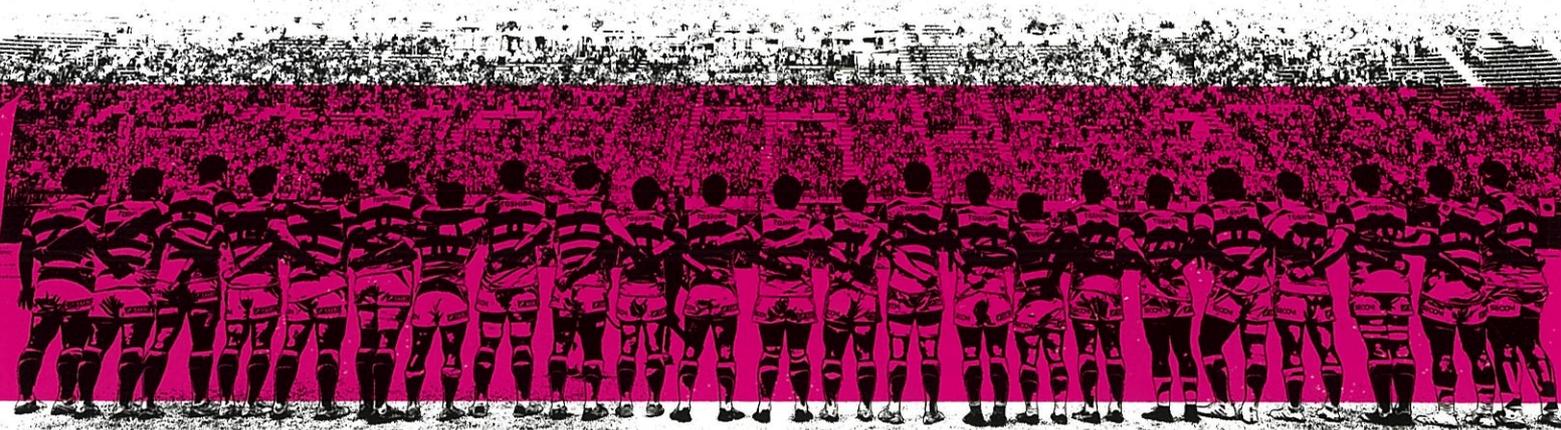
電話番号 045-671-3690

F A X 番号 045-664-0669

ウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/sports/>

WE ARE BRAVE BLOSSOMS

日産スタジアムに集まろう。勇敢なる桜の花を咲かせよう。



リポビタンD チャレンジカップ2017



ラグビー日本代表 vs オーストラリア代表

2017年11月4日(土) 14:40 KICK OFF 日産スタジアム(横浜市)

くわしい情報は、(公財)日本ラグビーフットボール協会HPまで <https://www.rugby-japan.jp/> 仲間と一緒に#OneMoreで投稿しよう!

主催:公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会 共催:神奈川県・横浜市(予定) 主管:関東ラグビーフットボール協会 神奈川県ラグビーフットボール協会 特別協賛:大正製薬株式会社
男子日本代表オフィシャルパートナー 男子日本代表オフィシャルスポンサー



BRAVE BLOSSOMSとは、桜のエムブレムを胸に、勇敢に戦うラグビー日本代表チームにつけられた愛称です。

日程	キックオフ (予定)	対戦カード	会場	Pコード	Lコード
10月28日(土)	15:00	ジャパンラグビーチャンピオンズカップ2017 日本代表(Japan XV) vs 世界選抜(World XV)	福岡・レベルファイブスタジアム	597-091	82825
11月4日(土)	14:40	リポビタンDチャンピオンズカップ2017 日本代表 vs オーストラリア代表	神奈川・日産スタジアム	597-091	32021

発売スケジュール

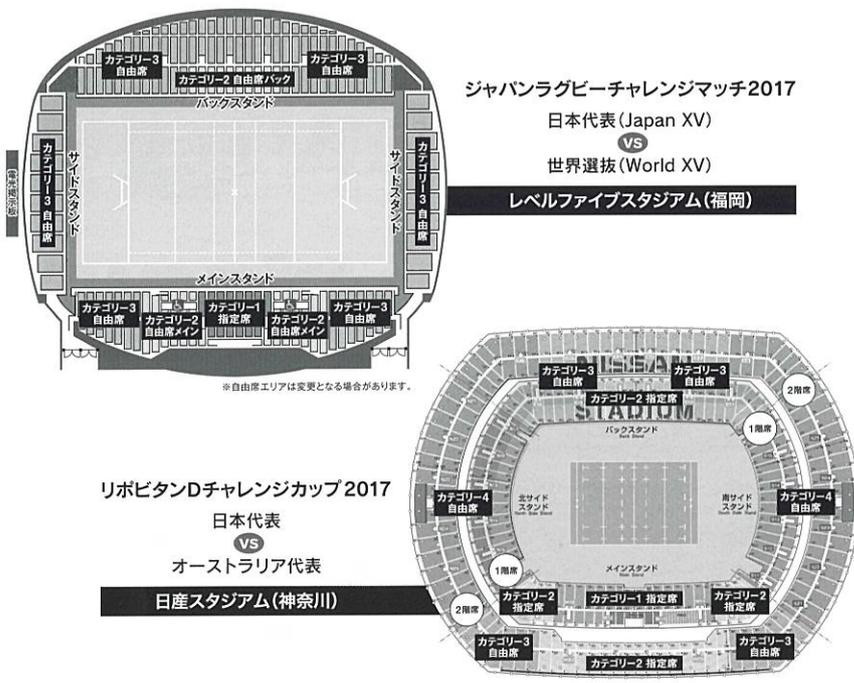
- 【JRFUメンバーズクラブ抽選販売】**
 《受付期間》8月12日(土)11:00~8月17日(木)11:00
 《結果発表》8月18日(金) 18:00頃
- 【JRFUメンバーズクラブ先着先行】**
 《受付期間》8月19日(土)13:00~
- 【ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会公式サポーターズクラブ抽選先行】**
 《受付期間》8月21日(月)11:00~8月24日(木)18:00
 《結果発表》8月25日(金)18:00頃
※公式サポーターズクラブのメルマガ登録が必要です。
- 【びあブレリザーブ】**
 《受付期間》8月26日(土)11:00~8月31日(木)11:00
 《結果発表》9月1日(金)18:00頃
- 【一般販売】** 9月2日(土)10:00~

**JRFUメンバーズクラブに入会して、
一足早くチケットをゲットしよう!**

詳しくは「JRFUメンバーズクラブ」で検索!

JRFUメンバーズクラブ会員特典(日本協会主催試合招待券)のご利用について
※本大会は、ご利用いただけません。
 ※本大会は、ユース会員特典「トップリーグ無料招待」対象外となりますので、ユース会員証ご提示でのご入場はできません。

会場図



料金

ジャパンラグビーチャンピオンズカップ2017 世界選抜(World XV)戦

席種	前売(税込)	当日(税込)
カテゴリ1指定席	¥7,000	¥7,500
カテゴリ2自由席メイン	¥5,000	¥5,500
カテゴリ2自由席バック	¥5,000	¥5,500
カテゴリ3自由席	¥3,000	¥3,500
カテゴリ3自由席 小中	¥1,000	¥1,500
車椅子エリア	¥3,000	¥3,500

リポビタンDチャンピオンズカップ2017 オーストラリア代表戦

席種	前売(税込)	当日(税込)
カテゴリ1指定席	¥12,000	¥13,000
カテゴリ2指定席メイン1F	¥9,000	¥9,500
カテゴリ2指定席メイン1F 小中	¥2,000	—
カテゴリ2指定席メイン2F	¥9,000	¥9,500
カテゴリ2指定席メイン2F 小中	¥2,000	—
カテゴリ2指定席バック1F	¥9,000	¥9,500
カテゴリ2指定席バック1F 小中	¥2,000	—
カテゴリ3自由席メイン2F	¥4,500	¥5,000
カテゴリ3自由席メイン2F 小中	¥1,000	¥2,500
カテゴリ3自由席バック1F	¥4,500	¥5,000
カテゴリ3自由席バック1F 小中	¥1,000	¥2,500
カテゴリ3自由席バック2F	¥4,500	¥5,000
カテゴリ3自由席バック2F 小中	¥1,000	¥2,500
カテゴリ4自由席	¥3,000	¥3,500
カテゴリ4自由席小中	¥1,000	¥1,500
車椅子エリア	¥3,000	¥3,500

【注意事項】
 ※カテゴリ2指定席小中…小学生から中学生までが対象となります。但し、未就学児童でもお席が必要な場合は入場券が必要です。
 ※自由席小中…未就学児童は無料です。本大会の各席割引対象は「小中学生」となります。高校生のお客様は一般券をご購入ください。
 ※小中学生券をご利用になる中学生は、試合当日に生徒証を持参してください。
 ※小中学生券から一般へのチケット振り替えはできませんので、予めご了承ください。
 ※雨天決行です。
 ※試合中止の場合を除き、購入後のチケットの変更や払戻しはできません。
 ※会場への危険物の持ち込み、介助犬・聴導犬・盲導犬を除く、ペットの同伴はお断りさせていただきます。

車椅子をご利用のお客様へ
 ※車椅子エリア券を、車椅子1台に付き1枚ご購入ください。(介助の方1名様迄無料となります。)
【取扱窓口】 TicketRUGBY、チケットびあ(びあ店舗、セブン-イレブン、サークルK・サンクス)、チケットびあ電話予約
 ※車椅子用駐車場をご希望の際は、予め下記までお問い合わせください。
 (予定数に達し次第、受付終了となります。)
 福岡・レベルファイブスタジアム/福岡県ラグビーフットボール協会
 TEL:092-715-8172
 神奈川・日産スタジアム/公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会 ナビダイヤル
 TEL:0570-02-9551(10:00~18:00 ※火曜定休)

チケット購入方法

公式チケット販売サイト

<http://ticket-rugby.jp/top.jsp>
 他インターネット、店頭販売、電話予約にて
※詳細は日本ラグビー協会HPをご覧ください。

チケットに関するお問い合わせ

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 チケットナビダイヤル
☎0570-02-9551 受付時間/10:00~18:00(※火曜定休)
※こちらの番号はお問合せ専用となります。チケット販売は行っておりませんので予めご了承ください。